

建設業と農林水産業の連携シンポ

2月15日に開催へ

建設トッププランナー倶楽部

農林水産省と建設トッププランナー倶楽部(代表幹事・米田雅子慶応大学特任教授)は、「建設業と農林水産業の新たな展開」をテーマに、第4回建設業と農林水産業の連携シンポジウムを、2021年2月15日に開く。都内で行うシンポジウムの模様を、オンラインでライブ配信する。

建設業のノウハウを生かした農林水産業の6事例を発表するなど、建設業と農林水産業の新たな展開について議論する。

6事例と発表企業は、①農福連携とスマート農業(愛亀(愛媛県))②震災復興と食・農・温泉の複合施設計画(深松組(宮城県))③北の大地の農業土木におけるICT活用(砂子組(北海道))④畜産堆肥の製造流通と平兵衛酢(へべす)栽培(内山建設(宮崎県))⑤林建協働の新たな取り組み(長瀬土建(岐阜県))⑥会津の山力を最大限に引き出す(佐久間建設工業(福島県))。

時間は午後2〜4時。参加無料。定員500人(オンライン)。申し込みは建設トッププランナー倶楽部ホームページ(<http://www.kentop.org/>)から。問い合わせ先は同倶楽部事務局 電話03(5876)8461。